Love Earth. Love Life.
雪印メグミルク

2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月10日

上 場 会 社 名	雪印メグミルク株式会社	上場取引所	東・札
コ ー ド 番 号	2270	URL	https://www.meg-snow.com/
代　　表　　者	（役職名） 代表取締役社長	（氏名）	佐藤　雅俊
問合せ先責任者	（役職名） 広報ＩＲ部長	（氏名）	左柄　正典　　(TEL) 03-6859-1466
半期報告書提出予定日	2026年11月10日	配当支払開始予定日	―

決算補足説明資料作成の有無　　：有
決算説明会開催の有無　　：有　（ アナリスト、機関投資家向け ）

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	312,203	1.0	8,037	△12.4	8,753	△17.4	17,497	55.0
2026年３月期中間期	309,229	△0.8	9,172	△22.4	10,592	△16.9	11,285	23.5

（注）包括利益　2027年３月期中間期　17,792百万円（　127.9%）　2026年３月期中間期　7,805百万円（　△42.0%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	291.20	―
2026年３月期中間期	176.19	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年３月期中間期	425,320	248,037	57.6	4,123.74
2026年３月期	426,820	240,741	55.7	3,923.36

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　244,847百万円　　2026年３月期　237,666百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	―	―	100.00	100.00
2027年３月期	―	―			
2027年３月期(予想)			―	100.00	100.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　　：　無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	630,000	2.3	18,000	△1.5	18,800	△8.2	23,200	△29.5	391.45

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　　：　有

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　：　無

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無

②　①以外の会計方針の変更　：　無

③　会計上の見積りの変更　：　無

④　修正再表示　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	63,835,455株	2026年３月期	63,835,455株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	4,460,217株	2026年３月期	3,258,094株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	60,087,023株	2026年３月期中間期	64,052,463株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

当社は、2026年５月14日開催の取締役会において、会社法第165条第３項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項について決議いたしました。これにより、2027年３月期の連結業績予想における「１株当たり当期純利益」については、当該自己株式取得の影響を考慮して記載しております。

業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法）

決算補足説明資料は第２四半期（中間期）決算短信に添付しております。

当社は2026年11月10日（火）にアナリスト、機関投資家向けの説明会を開催する予定です。

この説明会で使用する資料については、同日当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

１．当中間期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 4
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 5
（１）中間連結貸借対照表 …… 5
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 7
（中間連結損益計算書） …… 7
（中間連結包括利益計算書） …… 8
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 10
（継続企業の前提に関する注記） …… 10
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 10
（セグメント情報等） …… 11
（収益認識関係） …… 12

（補足説明資料）
2027年３月期 第２四半期 決算短信 補足説明資料

１．当中間期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当中間連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

（１）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間のわが国経済は、緩やかに回復しています。

先行きについては、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待される一方、中東情勢や金融資本市場の変動等の影響にも引き続き注意が必要です。

このような状況において、当社グループは2025年５月に発表した経営計画「Next Design 2030」に基づき、「雪印メグミルクアセットの大変革」をテーマとして、事業戦略の４つの柱である「成長の果実の育成と収穫」「乳の産業価値を高める構造の変革」「リジェネラティブな酪農の実現」「社会とのつながりの進化」に取り組んでおります。

計画２年目となる2026年度は「Next Design 2030」に掲げる施策の展開を本格化し、成長戦略を着実に前進させる重要な一年と位置付けております。また、2026年度の経営方針を「BEYOND BORDERS.」と定め、「グループの変革」と「個人の進化」を両輪として、「Next Design 2030」の達成に向けた取り組みを一層推進し、持続的な成長と着実な成果の創出を目指してまいります。

当中間連結会計期間の連結経営成績につきましては次のとおりです。

売上高は、乳製品セグメント、飲料・デザート類セグメントおよび飼料・種苗セグメントのいずれも前年同期を上回ったことから、312,203百万円(前年同期比1.0%増)となりました。営業利益は、9月に価格改定をしたものの、第２四半期以降の中東情勢等を背景にした原材料費やオペレーションコストの上昇が先行したことに加え、販売物量の減少等も影響し、8,037百万円(前年同期比12.4%減)となりました。経常利益は、8,753百万円(前年同期比17.4%減)となりました。親会社株主に帰属する中間純利益は、主に本社移転に伴う固定資産売却益の計上などにより17,497百万円(前年同期比55.0%増)となりました。

セグメントごとの当中間連結会計期間の業績は次のとおりです。なお、セグメントごとの売上高につきましては、外部顧客に対する金額を記載しております。

① 乳製品

当セグメントには、乳製品（チーズ、バター、粉乳等）、油脂、機能性食品、粉ミルク等の製造・販売が含まれております。

売上高は130,987百万円(前年同期比1.0%増)、営業利益は3,921百万円(前年同期比2.5%減)となりました。

（売上高の状況）

バターは、前年並みの販売物量を維持し、堅調に推移しました。

油脂は、市場の需要低迷等の影響を受け、前年同期を下回りました。

チーズは、各種プロモーション活動や店頭での露出強化等により、前年同期を上回りました。特に、主力の「さけるチーズ」は、購買層の拡大に向けたプロモーションを積極的に展開したことなどにより大きく伸長し、売上拡大に寄与しました。

（営業利益の状況）

価格改定を実施したものの、中東情勢を背景としたコスト上昇が先行したことに加え、固定経費の増加等もあり、前年同期を下回りました。

② 飲料・デザート類

当セグメントには、飲料（牛乳類、果汁飲料等）、ヨーグルト、デザート・生クリームの製造・販売が含まれております。

売上高は134,248百万円(前年同期比0.1%増)、営業利益は1,112百万円(前年同期比55.4%減)となりました。

（売上高の状況）

飲料は、機能性表示食品の「ＭＢＰドリンク」シリーズが前年同期を大幅に上回った一方で、果汁飲料などの一部商品の販売終了、天候不順による販売物量の減少等の影響で、前年同期を下回りました。

ヨーグルトは、主力の「恵 megumi ガセリ菌SP株ヨーグルト」シリーズが、前年同期を下回ったものの、「牧場の朝ヨーグルト」「ナチュレ恵megumi400g」等のファミリーユース商品や、小容量タイプの「プルーンFe 1日分の鉄分 のむヨーグルト」等が好調に推移し、前年同期を上回りました。

デザート・生クリームは、主力の「アジア茶房」シリーズが好調に推移したものの、「クリーム&」シリーズの販売物量の減少等により、前年同期を下回りました。

（営業利益の状況）

価格改定を実施したものの、中東情勢を背景としたコスト上昇が先行したことに加え、固定経費の増加や天候不順による販売物量の減少の影響を受け、前年同期を下回りました。

③ 飼料・種苗

当セグメントには、牛用飼料、牧草・飼料作物種子、野菜種子の製造・販売、造園事業が含まれております。

売上高は27,237百万円(前年同期比8.2%増)、営業利益は1,063百万円(前年同期比7.8%増)となりました。

（売上高の状況）

配合飼料の販売物量が減少したものの、価格改定効果により、前年同期を上回りました。

（営業利益の状況）

価格改定による売上高の増加等により、前年同期を上回りました。

④ その他

当セグメントには、共同配送センター事業、不動産賃貸事業等が含まれております。

売上高は19,730百万円(前年同期比2.6%減)、営業利益は1,939百万円(前年同期比1.7%増)となりました。

（２）財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

（単位：百万円）

区分	2026年 ３月期末	2027年 ３月期中間期	増減金額	主な増減理由
資　産	426,820	425,320	△1,500	現金及び預金△6,526 受取手形、売掛金及び契約資産2,098 商品及び製品5,013 土地△5,970 機械装置及び運搬具2,337
負　債	186,078	177,282	△8,796	支払手形及び買掛金△960 未払法人税等△5,561 賞与引当金△370
純資産	240,741	248,037	7,296	利益剰余金11,421 自己株式△4,418

② キャッシュ・フローの状況

（単位：百万円）

区分	2026年 ３月期中間期	2027年 ３月期中間期	増減金額	主な増減理由
営業活動による キャッシュ・フロー	8,081	△2,116	△10,197	(増加要因) 税金等調整前中間純利益の増加9,609 投資有価証券売却損益(△は益) 7,858 (減少要因) 固定資産除売却損益（△は益）△17,055 法人税等の支払額の増加△10,895
投資活動による キャッシュ・フロー	△4,269	5,751	10,020	(増加要因) 有形及び無形固定資産の売却による収入の増加21,301 (減少要因) 投資有価証券の売却による収入の減少△8,352 有形及び無形固定資産の取得による支出の増加△2,370
財務活動による キャッシュ・フロー	△18,342	△10,306	8,036	(増加要因) 自己株式取得による支出の減少11,098 長期借入金の返済による支出の減少2,572 (減少要因) 短期借入金の減少△5,979
現金及び現金同等物の 中間期末残高	6,633	7,468	835	―

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年３月期の通期連結業績予想につきましては、当中間連結会計期間の進捗および中東情勢の影響によるコスト上昇が継続することに加え、国内市場環境の悪化により、販売物量が想定を下回る見通しであることから、2026年５月14日に公表した通期連結業績予想を下方修正いたします。

2027年３月期連結業績予想数値の修正（2026年４月１日～2027年３月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	１株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 645,000	百万円 21,000	百万円 21,800	百万円 24,500	円 銭 413.03
今回修正予想（B）	630,000	18,000	18,800	23,200	391.45
増減額（B)-(A)	△15,000	△3,000	△3,000	△1,300	―
増減率（%）	△2.3	△14.3	△13.8	△5.3	―
（参考）前期実績 (2026年３月期)	615,761	18,266	20,486	32,897	524.82

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,041	7,514
受取手形、売掛金及び契約資産	84,070	86,169
商品及び製品	46,698	51,711
仕掛品	1,131	1,365
原材料及び貯蔵品	23,954	23,449
その他	6,272	6,288
貸倒引当金	△327	△325
流動資産合計	175,841	176,174
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	65,894	65,971
機械装置及び運搬具（純額）	56,802	59,140
土地	47,141	41,170
その他（純額）	18,391	19,817
有形固定資産合計	188,229	186,099
無形固定資産		
のれん	222	169
その他	7,562	7,089
無形固定資産合計	7,785	7,258
投資その他の資産		
投資有価証券	35,297	36,477
繰延税金資産	3,290	2,899
その他	16,504	16,543
貸倒引当金	△128	△133
投資その他の資産合計	54,963	55,787
固定資産合計	250,979	249,145
資産合計	426,820	425,320

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	59,965	59,005
電子記録債務	3,672	4,053
短期借入金	7,245	8,063
未払法人税等	12,828	7,267
賞与引当金	5,780	5,410
その他	38,963	35,774
流動負債合計	128,455	119,574
固定負債		
社債	15,021	15,016
長期借入金	19,446	19,246
繰延税金負債	1,014	1,553
再評価に係る繰延税金負債	3,929	3,929
役員退職慰労引当金	1	1
退職給付に係る負債	6,736	6,743
資産除去債務	2,776	2,951
その他	8,698	8,267
固定負債合計	57,622	57,708
負債合計	186,078	177,282
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,000	20,000
資本剰余金	－	0
利益剰余金	201,607	213,029
自己株式	△8,167	△12,585
株主資本合計	213,440	220,443
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,693	9,830
繰延ヘッジ損益	25	0
土地再評価差額金	8,425	8,425
為替換算調整勘定	1,321	1,600
退職給付に係る調整累計額	4,760	4,547
その他の包括利益累計額合計	24,226	24,403
非支配株主持分	3,075	3,190
純資産合計	240,741	248,037
負債純資産合計	426,820	425,320

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	309,229	312,203
売上原価	257,048	260,335
売上総利益	52,180	51,868
販売費及び一般管理費	43,007	43,830
営業利益	9,172	8,037
営業外収益		
受取利息	44	50
受取配当金	553	212
持分法による投資利益	705	671
その他	564	402
営業外収益合計	1,867	1,337
営業外費用		
支払利息	192	196
その他	254	425
営業外費用合計	447	621
経常利益	10,592	8,753
特別利益		
固定資産売却益	12	17,597
投資有価証券売却益	8,532	665
その他	66	25
特別利益合計	8,610	18,288
特別損失		
固定資産売却損	7	6
固定資産除却損	584	1,116
減損損失	2,159	154
関係会社整理損	834	3
工場再編費用	－	606
その他	97	25
特別損失合計	3,682	1,912
税金等調整前中間純利益	15,520	25,129
法人税等	4,414	7,537
中間純利益	11,106	17,592
非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に帰属する中間純損失（△）	△179	95
親会社株主に帰属する中間純利益	11,285	17,497

（中間連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純利益	11,106	17,592
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,803	85
繰延ヘッジ損益	5	△25
土地再評価差額金	△22	－
為替換算調整勘定	△282	254
退職給付に係る調整額	△162	△168
持分法適用会社に対する持分相当額	△33	54
その他の包括利益合計	△3,300	199
中間包括利益	7,805	17,792
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	8,009	17,674
非支配株主に係る中間包括利益	△203	117

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	15,520	25,129
減価償却費	8,502	9,328
減損損失	2,159	154
関係会社整理損	834	3
工場再編費用	－	606
持分法による投資損益（△は益）	△705	△671
のれん償却額	57	67
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△17	2
賞与引当金の増減額（△は減少）	12	△370
退職給付に係る資産の増減額（△は増加）	△298	△335
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△345	△92
固定資産除売却損益（△は益）	580	△16,475
投資有価証券売却損益（△は益）	△8,523	△665
受取利息及び受取配当金	△598	△263
支払利息	192	196
未収入金の増減額（△は増加）	595	299
売上債権の増減額（△は増加）	△4,709	△2,038
棚卸資産の増減額（△は増加）	△4,949	△4,705
仕入債務の増減額（△は減少）	△883	△599
その他	1,243	143
小計	8,666	9,714
利息及び配当金の受取額	665	327
利息の支払額	△190	△202
法人税等の支払額	△1,059	△11,955
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,081	△2,116
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	12	－
定期預金の預入による支出	△3	△2
貸付けによる支出	△3	△1
貸付金の回収による収入	4	1
有形及び無形固定資産の取得による支出	△13,021	△15,391
有形及び無形固定資産の売却による収入	5	21,307
投資有価証券の取得による支出	△7	△400
投資有価証券の売却による収入	9,017	665
敷金及び保証金の差入による支出	△20	△27
その他	△254	△400
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,269	5,751
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	6,860	880
長期借入金の返済による支出	△2,849	△277
社債の償還による支出	△4	△4
自己株式の取得による支出	△15,597	△4,499
配当金の支払額	△6,741	△6,052
非支配株主への配当金の支払額	△2	△2
非支配株主からの払込みによる収入	108	－
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の売却による収入	199	－
その他	△313	△350
財務活動によるキャッシュ・フロー	△18,342	△10,306
現金及び現金同等物に係る換算差額	△156	141
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△14,686	△6,529
現金及び現金同等物の期首残高	21,319	13,998
現金及び現金同等物の中間期末残高	6,633	7,468

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2026年５月14日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,232,100株の取得を行っております。このことなどにより、当中間連結会計期間において、自己株式が4,418百万円増加し、当中間連結会計期間末において自己株式が12,585百万円となっております。

（セグメント情報等）

Ⅰ　前中間連結会計期間(自　2025年４月１日　至　2025年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント　(注) 1				その他(注) 2	合計	調整額(注) 3	中間連結損益計算書計上額(注) 4
	乳製品	飲料・デザート類	飼料・種苗	計				
売上高								
顧客との契約から生じる収益	129,663	134,149	25,162	288,975	20,078	309,054	－	309,054
その他の収益	－	－	－	－	174	174	－	174
外部顧客への売上高	129,663	134,149	25,162	288,975	20,253	309,229	－	309,229
セグメント間の内部売上高又は振替高	7,663	41	572	8,276	8,280	16,557	△16,557	－
計	137,327	134,190	25,734	297,252	28,533	325,786	△16,557	309,229
セグメント利益	4,021	2,493	986	7,502	1,907	9,409	△236	9,172

（注）１．報告セグメントの売上高は、主に「商品または製品の販売に係る収益」によるものです。
２．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、共同配送センター事業および不動産賃貸事業等が含まれております。売上高は、主に「配送サービスに係る収益」によるものです。
３．セグメント利益の調整額△236百万円は、セグメント間の取引消去金額であります。
４．セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

乳製品セグメントにおいて、2025年11月14日に当社興部工場（北海道紋別郡興部町）の生産終了を決定したことから減損の兆候があると判断しました。

減損判定をした結果、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失（2,106百万円）として、特別損失に計上しております。

Ⅱ　当中間連結会計期間(自　2026年４月１日　至　2026年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント　(注)１				その他(注)２	合計	調整額(注)３	中間連結損益計算書計上額(注)４
	乳製品	飲料・デザート類	飼料・種苗	計				
売上高								
顧客との契約から生じる収益	130,987	134,248	27,237	292,473	19,561	312,035	－	312,035
その他の収益	－	－	－	－	168	168	－	168
外部顧客への売上高	130,987	134,248	27,237	292,473	19,730	312,203	－	312,203
セグメント間の内部売上高又は振替高	7,105	39	23	7,169	7,661	14,830	△14,830	－
計	138,092	134,287	27,261	299,642	27,392	327,034	△14,830	312,203
セグメント利益	3,921	1,112	1,063	6,096	1,939	8,036	1	8,037

（注）１．報告セグメントの売上高は、主に「商品または製品の販売に係る収益」によるものです。
２．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、共同配送センター事業および不動産賃貸事業等が含まれております。売上高は、主に「配送サービスに係る収益」によるものです。
３．セグメント利益の調整額１百万円は、セグメント間の取引消去金額であります。
４．セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「(４)中間連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。